

第

2

章

現 狀

1 市の現状

(1) 人口と世帯数の推移

① 市の人口と世帯数の推移

鶴ヶ島市の総人口は、昭和50年代の急増期を経て、平成2年に6万人を超え、近年は、わずかな増加傾向にあります。

世帯数は、総人口の微増に比べて、更に増加傾向が続いています。

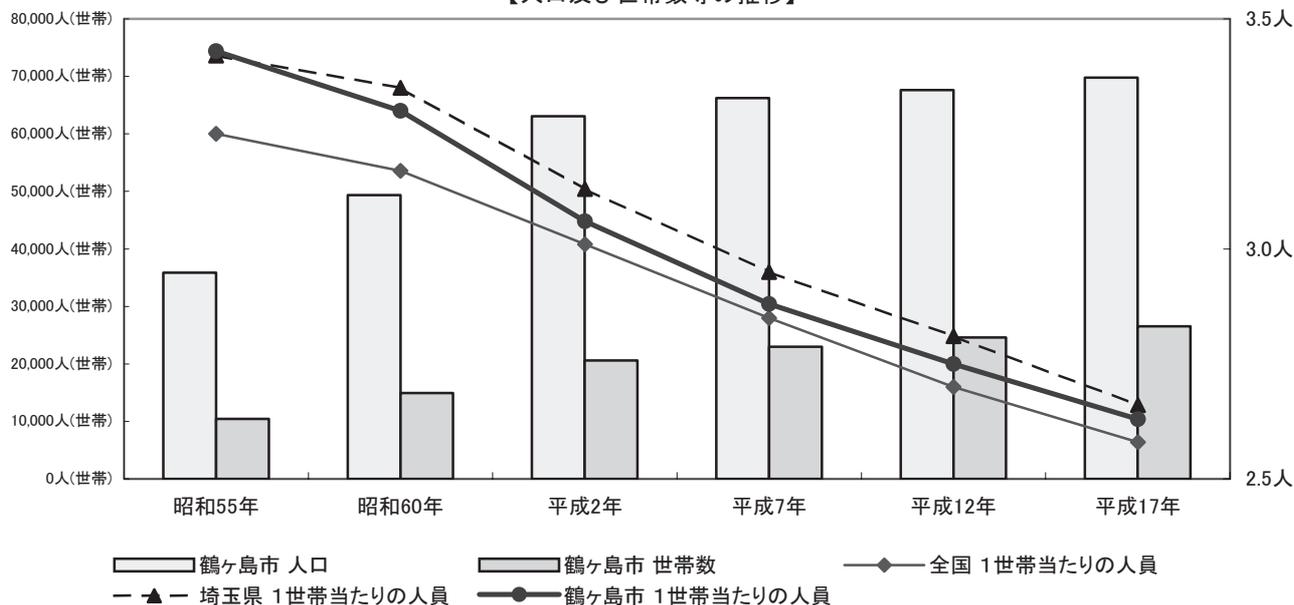
これは、1世帯当たり人員の減少を示しています。全国・埼玉県平均も減少していますが、本市における減少の幅が特に大きく核家族化が進んでいます。

人口と世帯数の推移 (単位：人)

	鶴ヶ島市			全国	埼玉県
	人口	世帯数 (世帯)	1世帯当 たり人員	1世帯当 たり人員	1世帯当 たり人員
昭和55年	35,842	10,444	3.43	3.25	3.42
昭和60年	49,381	14,946	3.30	3.17	3.35
平成2年	63,064	20,585	3.06	3.01	3.13
平成7年	66,208	22,965	2.88	2.85	2.95
平成12年	67,638	24,598	2.75	2.70	2.81
平成17年	69,788	26,543	2.63	2.58	2.66

(資料：国勢調査)

【人口及び世帯数等の推移】



② 人口構成比率の推移及び今後の推計

市の総人口は、平成27年には72,501人となり、0歳から14歳以下の年少人口が9,982人、15歳から64歳以下の生産年齢人口が45,217人、高齢者人口が17,302人と推計しています。

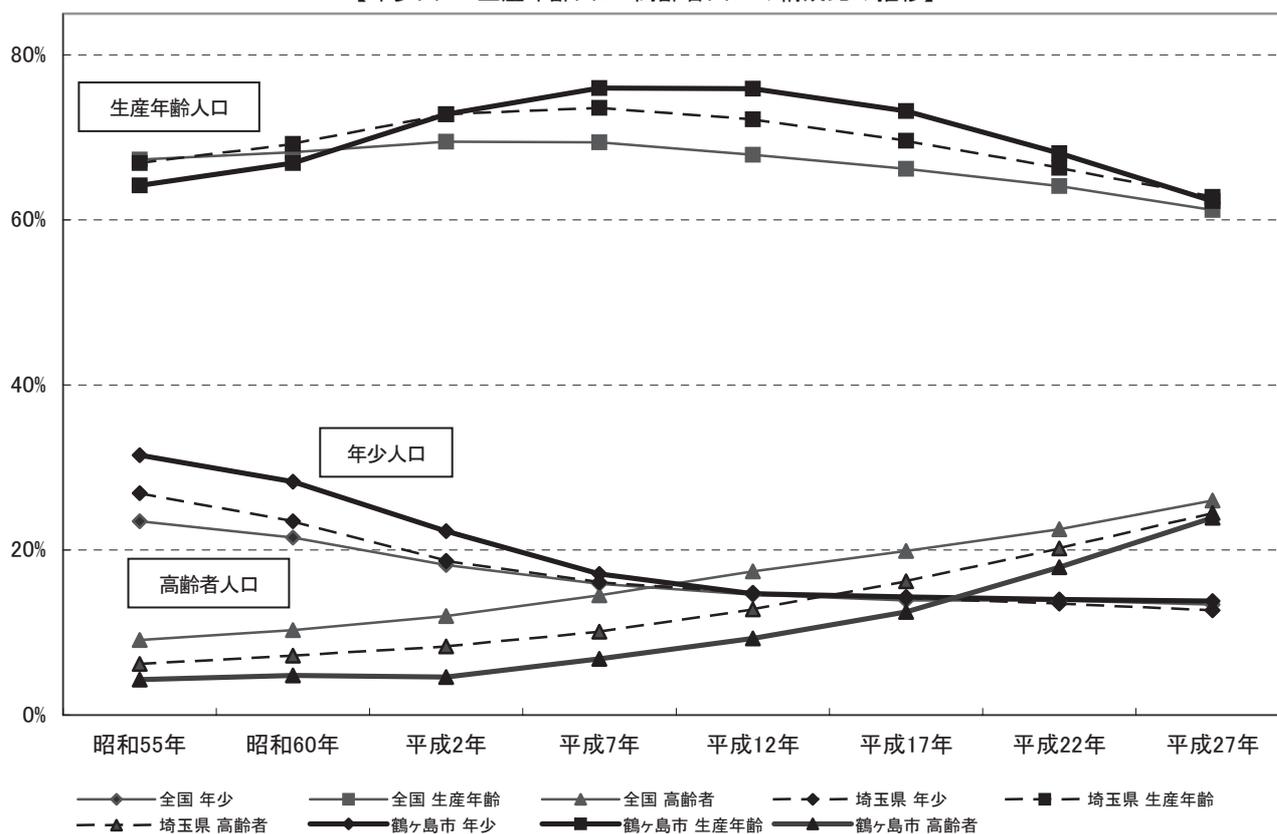
人口構成では、0歳から14歳の年少人口は横ばいで推移するのに対し、現在は70%を上回っている15～64歳の生産年齢人口は減少を続け、逆に65歳以上の高齢者人口は増加が続くものと予測されます。

市、全国及び埼玉県の人口構成比率推計 (単位：%)

	市			全 国			埼 玉 県		
	年少	生産年齢	高齢者	年少	生産年齢	高齢者	年少	生産年齢	高齢
昭和55年	31.5	64.2	4.3	23.5	67.3	9.1	26.9	66.9	6.2
昭和60年	28.3	66.9	4.8	21.5	68.2	10.3	23.5	69.2	7.2
平成2年	22.3	72.8	4.9	18.2	69.5	12.0	18.7	72.8	8.3
平成7年	17.1	76.0	6.8	15.9	69.4	14.5	16.1	73.6	10.1
平成12年	14.7	75.9	9.3	14.6	68.0	17.4	14.8	72.4	12.8
平成17年	14.3	73.2	12.5	13.9	66.2	19.9	14.2	69.6	16.2
平成22年	14.0	68.1	17.9	13.4	64.1	22.5	13.5	66.3	20.2
平成27年	13.8	62.3	23.9	12.8	61.2	26.0	12.7	62.8	24.5

(資料 昭和55年～平成12年国勢調査 平成17年～27年〔全国・埼玉県〕国立社会保障・人口問題研究所推計
平成17年～27年〔市〕平成17年10月1日の人口からコーホート法による推計)

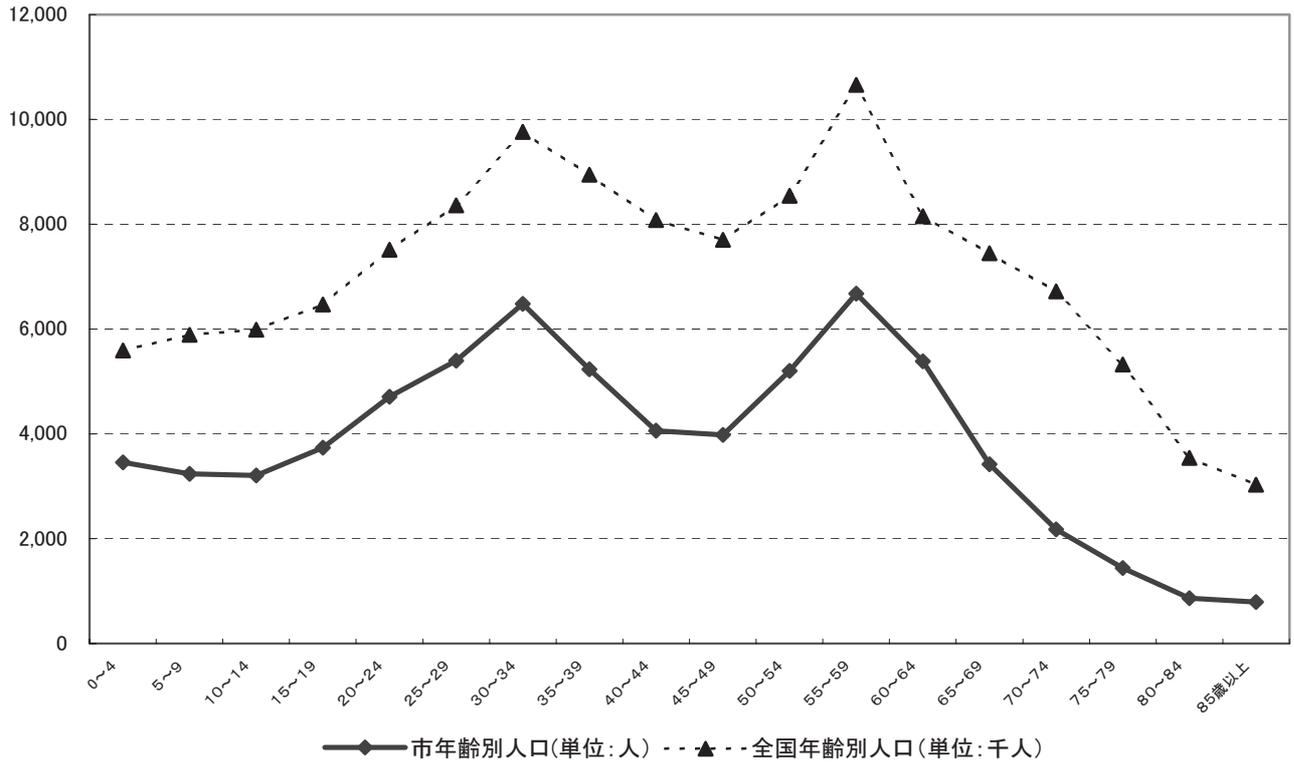
【年少人口・生産年齢人口・高齢者人口の構成比の推移】



③ 市及び全国の年齢別人口比較

市及び全国の人口構成は、57歳から59歳のいわゆる「団塊の世代」を中心とした階層と31歳から34歳の「団塊ジュニア世代」の階層が突出して多い構成となっています。

【市年齢別人口及び全国年齢別人口の推移】



(資料：平成17年度国勢調査)

(2) 自治会活動の状況

① 自治会加入率の推移

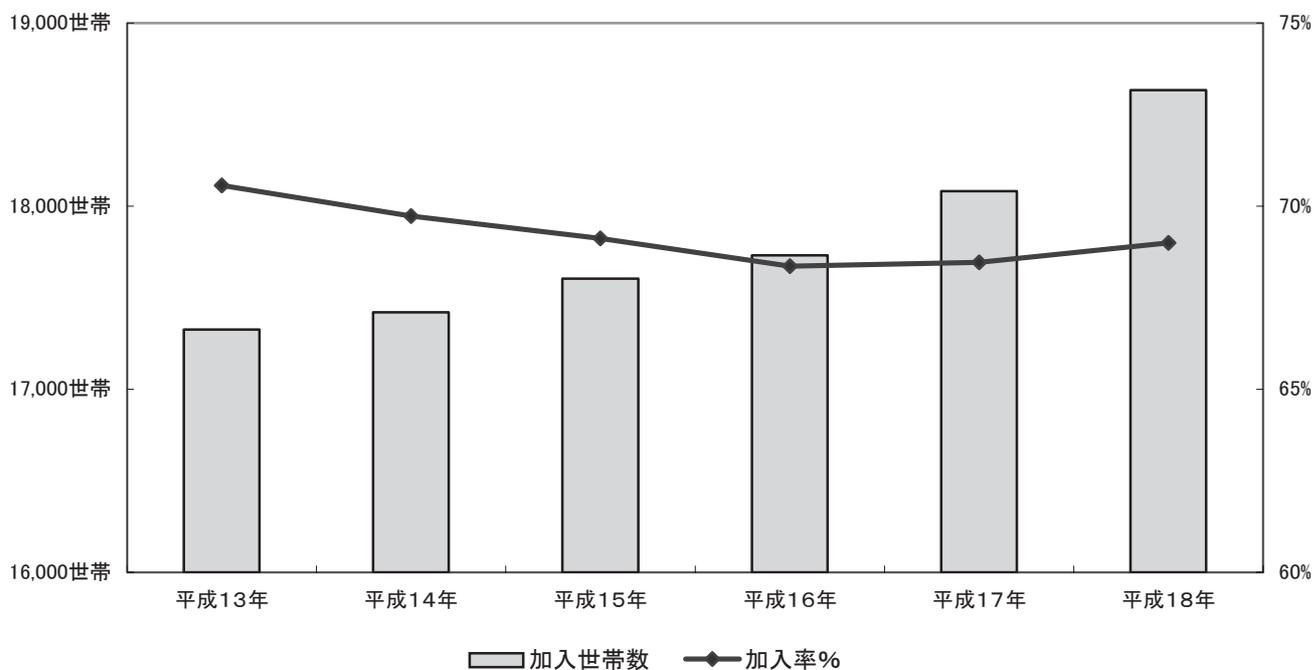
地域のコミュニティ組織の中核である自治会の加入世帯数は、市における世帯数の増加とともに増加傾向にあります。自治会への加入率は、7割を下回った状況で推移しています。

自治会加入率の推移

	加入世帯数	加入率
平成13年	17,325	70.6
平成14年	17,419	69.7
平成15年	17,604	69.1
平成16年	17,732	68.4
平成17年	18,082	68.5
平成18年	18,635	69.0

(各年4月1日現在 資料：人権・地域創造課)

【自治会世帯数と加入率の推移】



(3) 老人クラブ活動の状況

① 老人クラブ加入状況の推移

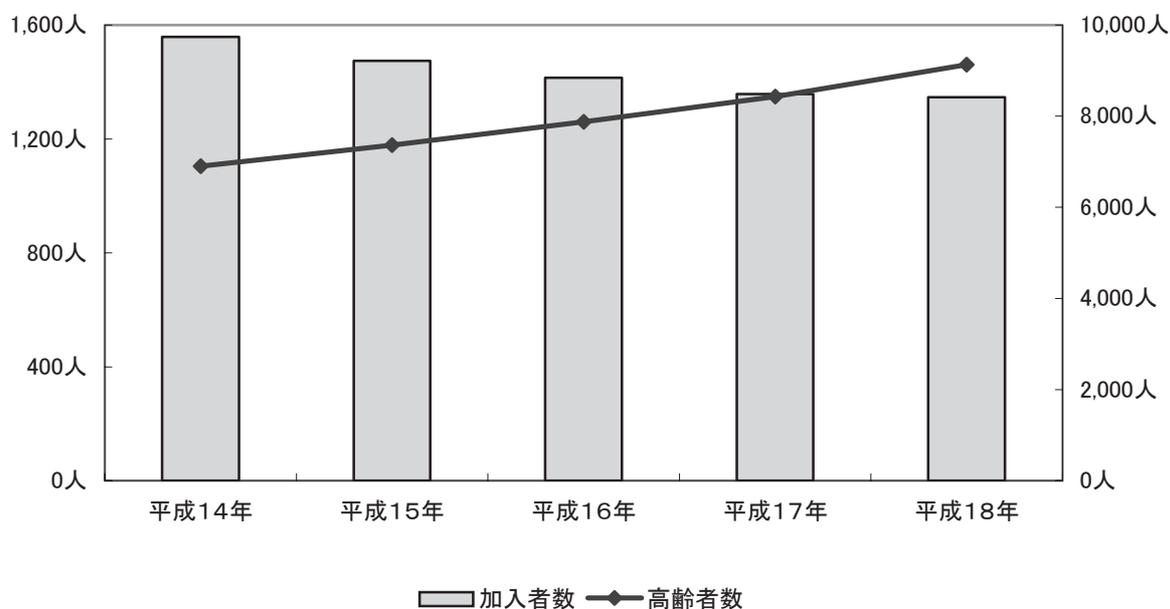
老人クラブの状況は、65歳以上の高齢者層人口が増加しているにもかかわらず、老人クラブ加入者数は、逆に減少傾向にあります。

老人クラブのクラブ数と加入者数の推移

	クラブ数	加入者数（人）
平成14年	29	1,559
平成15年	29	1,474
平成16年	29	1,415
平成17年	27	1,358
平成18年	27	1,346

(各年6月1日現在 資料：高齢者福祉課)

【老人クラブ加入者数の推移】



2 福祉サービスの現状

(1) 高齢者の推移

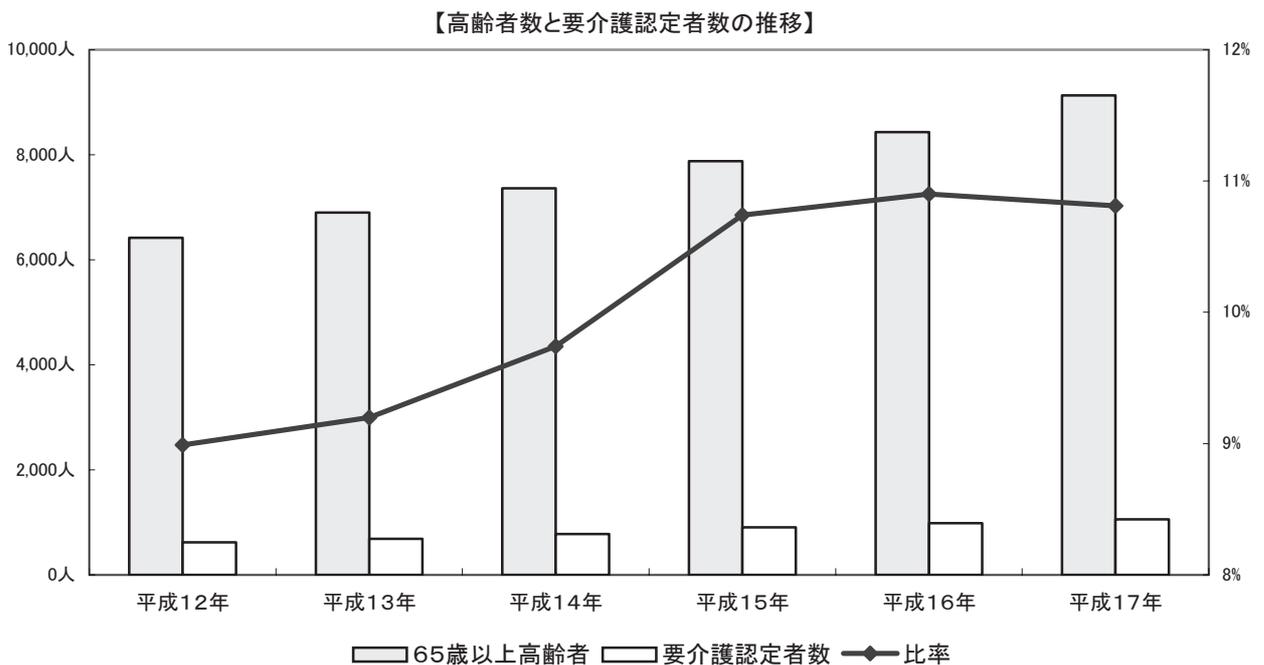
① 高齢者（65歳以上）に占める要介護等認定者の推移

平成12年の介護保険制度がスタートした当初から比べ、鶴ヶ島市の高齢者（65歳以上）に占める要介護認定者数及び認定比率は、大幅に増加しています。これは、高齢者数の増加とともに、制度が広く普及して要介護認定を受ける方が増え続けていることによります。

高齢者に占める要介護等認定者の推移 (単位：人)

	65歳以上の高齢者			要介護 認定者数	認定比率 (%)
	65～74歳	75歳～	計		
平成12年	4,049	2,370	6,419	618	8.99
平成13年	4,380	2,521	6,901	686	9.20
平成14年	4,687	2,673	7,360	779	9.74
平成15年	5,032	2,844	7,876	907	10.74
平成16年	5,379	3,052	8,431	987	10.90
平成17年	5,927	3,205	9,132	1,056	10.81

(各年度末現在 資料：高齢者福祉課)



② 要介護度別認定者の推移

要介護度別認定者数は、平成12年の介護保険制度がスタートした当初に比べ、要支援・要介護1の軽度の認定者数が大幅に増加しています。

なお、平成18年4月からは、要介護認定区分のうち要支援・要介護1について見直しが行われ、要支援1・要支援2及び要介護1に細分化されました。

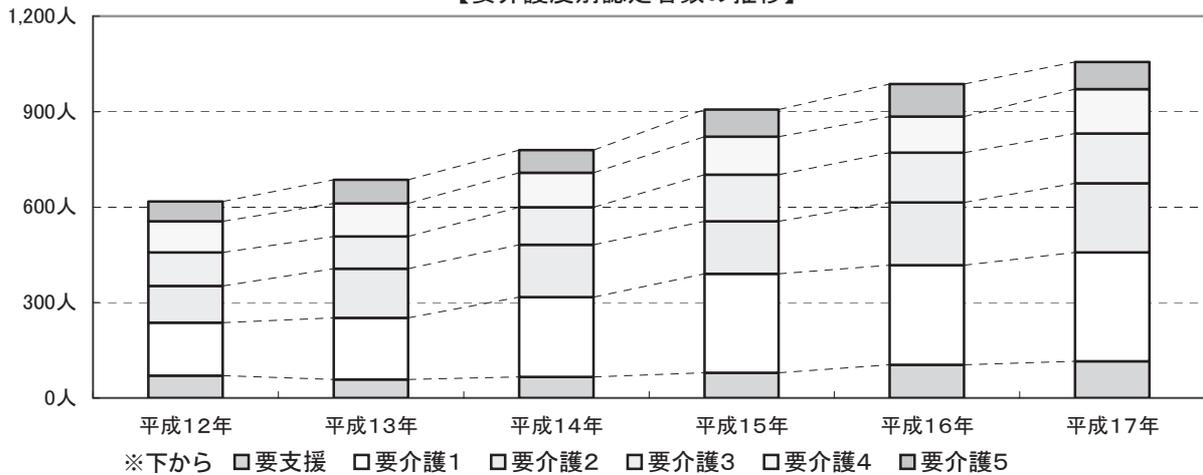
要介護度別認定者の推移

(単位：人)

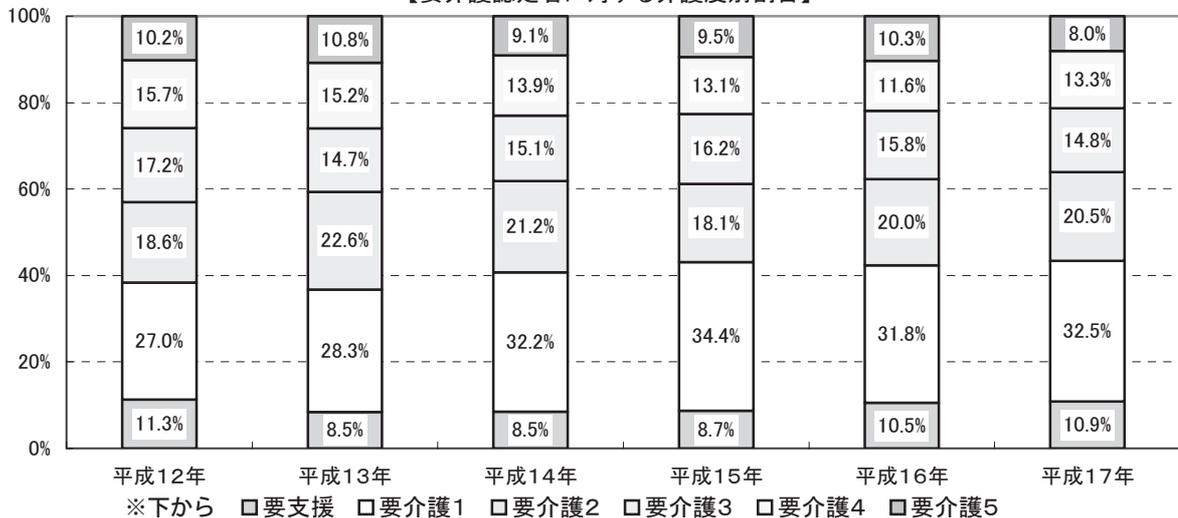
	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
平成12年	70	167	115	106	97	63	618
平成13年	58	194	155	101	104	74	686
平成14年	66	251	165	118	108	71	779
平成15年	79	312	164	147	119	86	907
平成16年	104	314	197	156	114	102	987
平成17年	115	343	217	156	140	85	1,056

(各年度末現在 資料：高齢者福祉課)

【要介護度別認定者数の推移】



【要介護認定者に対する介護度別割合】



③ 介護保険サービス利用者の推移

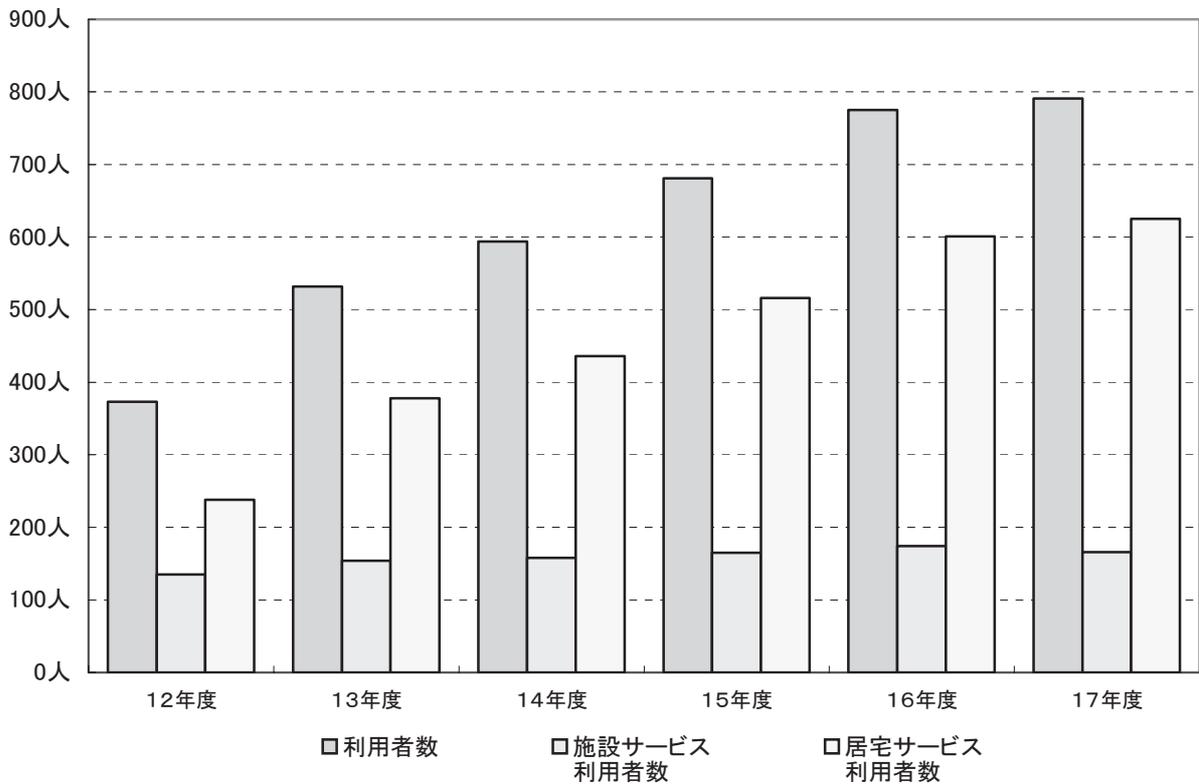
鶴ヶ島市の介護保険サービス利用者は、介護保険施設（介護老人福祉施設・介護老人保健施設・介護療養型医療施設）の入所者が微増であるのに対して、居宅におけるサービス利用者が大幅に増加しています。

介護保険サービス利用者の推移 (単位：人)

	施設サービス利用者	居宅サービス利用者	利用者計
平成12年	135	238	373
平成13年	154	378	532
平成14年	158	436	594
平成15年	165	516	681
平成16年	174	601	775
平成17年	166	625	791

(各年度末現在 資料：高齢者福祉課)

【介護サービス利用者の推移】



(2) 障害者の推移

① 障害者手帳等の所持者の推移

身体障害者手帳、療育手帳及び精神保健福祉手帳所持者は、年々増加を続けています。精神保健福祉手帳所持者については、市に移管された平成14年度からの実績となっています。

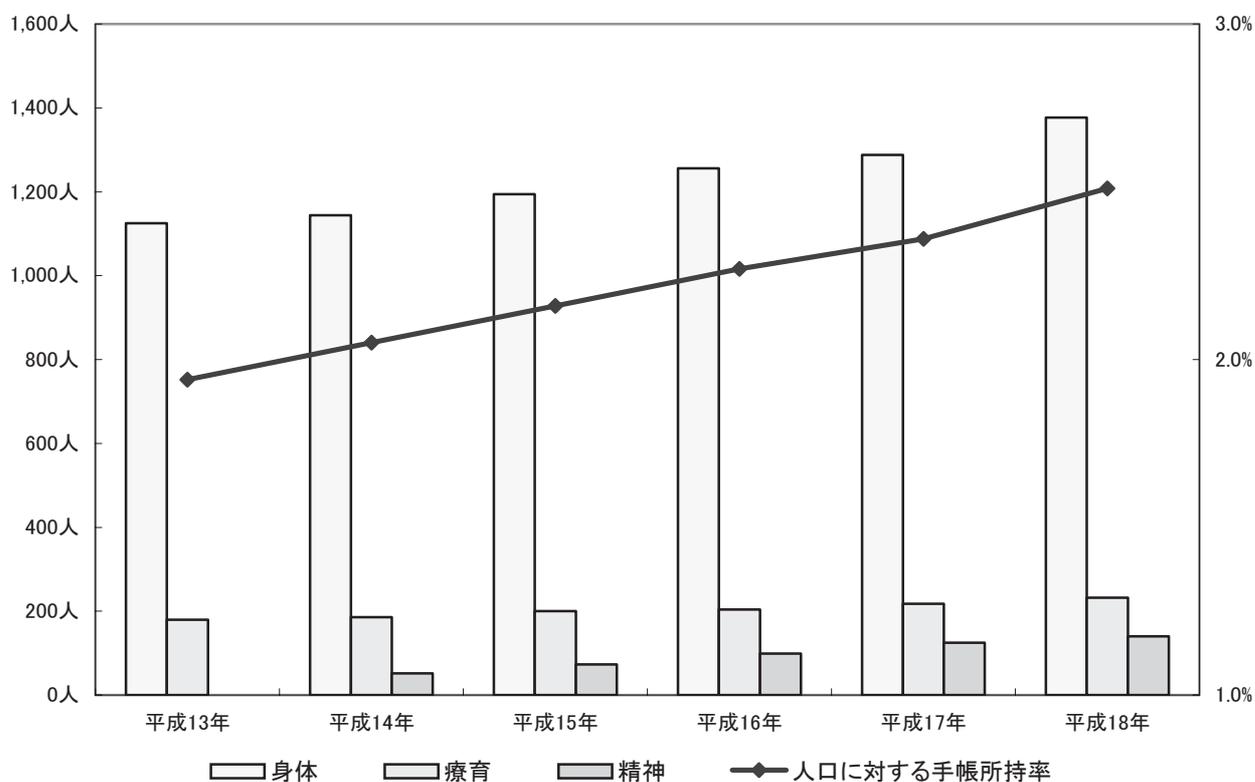
障害者手帳等の手帳所持者の推移

(単位：人)

	身体障害者	療育	精神保健	計	人口	比率(%)
平成13年	1,125	180	—	1,305	67,238	1.94
平成14年	1,144	186	52	1,382	67,463	2.05
平成15年	1,194	200	73	1,467	67,780	2.16
平成16年	1,256	204	99	1,559	68,603	2.27
平成17年	1,289	218	125	1,632	69,173	2.36
平成18年	1,378	232	137	1,747	69,777	2.50

(各年4月1日現在 資料：障害者福祉課)

【障害者手帳等の所持者の推移】



② 身体障害者手帳所持者（障害別）の推移

障害別身体障害者手帳所持者は、脳梗塞等による肢体不自由及び心臓機能障害が特に増加を続けています。

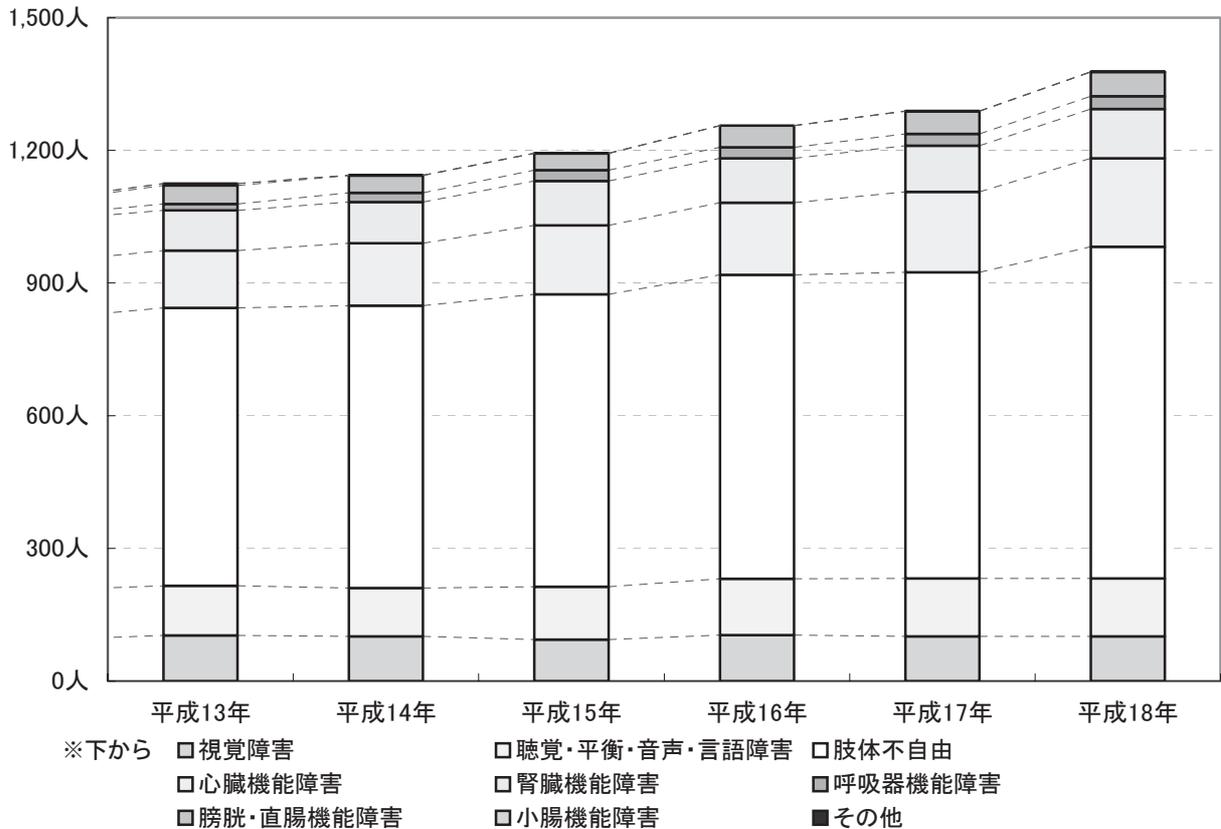
身体障害者手帳所持者（障害別）の推移

（単位：人）

	視覚	聴覚・平衡・ 音声・言語	肢体 不自由	心臓機能	腎機能	呼吸機能	膀胱 直腸機能	小腸機能	その他	計
平成13年	103	112	629	129	91	15	42	4	0	1,125
平成14年	101	109	639	141	93	21	39	1	0	1,144
平成15年	94	119	661	156	101	24	38	1	0	1,194
平成16年	104	127	687	164	100	25	49	0	0	1,256
平成17年	101	131	692	182	104	27	51	0	1	1,289
平成18年	101	131	750	200	111	29	55	0	1	1,378

（各年4月1日現在 資料：障害者福祉課）

【身体障害者手帳所持者(障害別)の推移】



③ 身体障害者手帳所持者（等級別）の推移

等級別身体障害者手帳所持者は、障害別で肢体不自由及び心臓機能障害が増加していることから重度の1級・2級の所持者が増加しています。

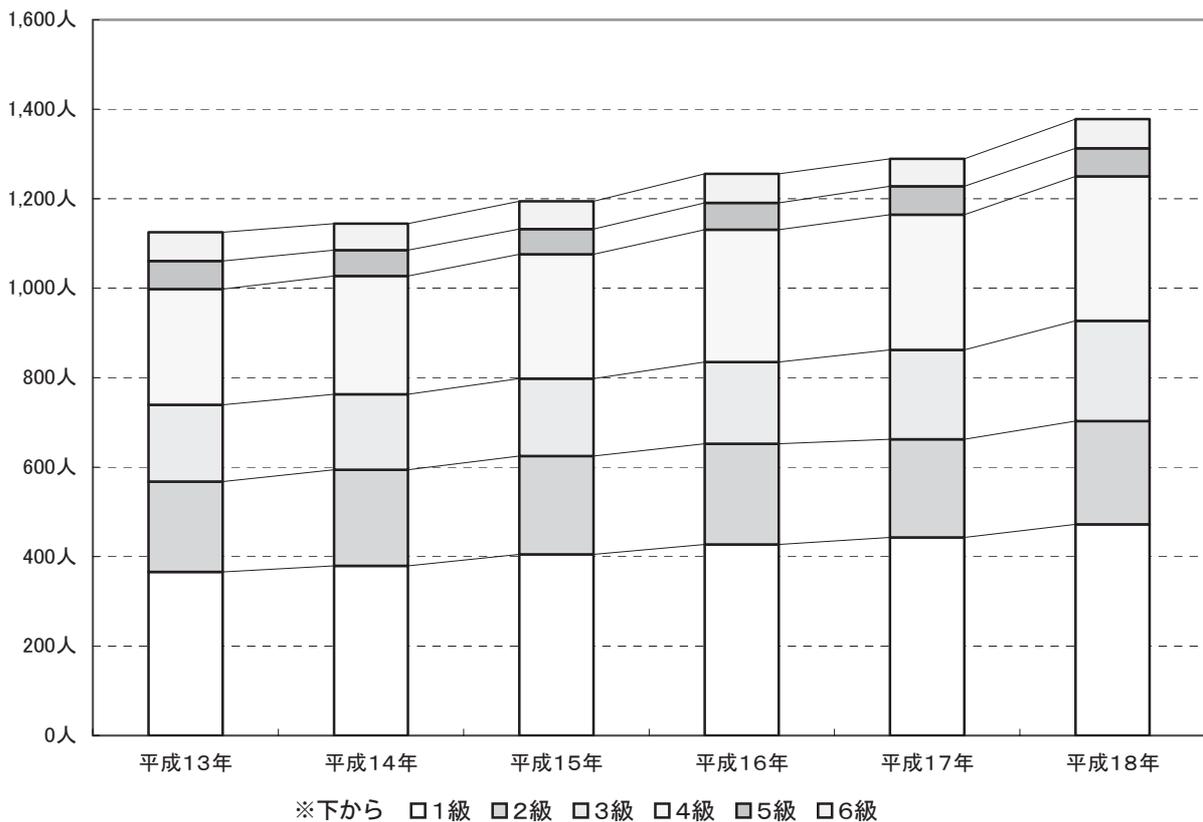
身体障害者手帳所持者（等級別）の推移

（単位：人）

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
平成13年	366	202	171	259	63	64	1,125
平成14年	379	215	169	264	58	59	1,144
平成15年	405	220	173	278	56	62	1,194
平成16年	427	225	183	296	60	65	1,256
平成17年	443	219	200	302	64	61	1,289
平成18年	472	231	224	323	63	65	1,378

（各年4月1日現在 資料：障害者福祉課）

【身体障害者手帳所持者（等級別）の推移】



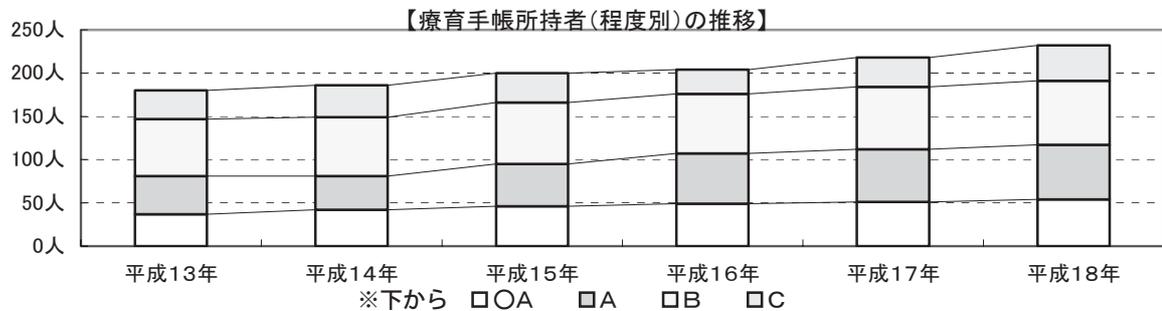
④ 療育手帳所持者（程度別）の推移

程度別療育手帳所持者は、各程度において徐々に増加しています。

療育手帳所持者（程度別）の推移 (単位：人)

	A	A	B	C	計
平成13年	37	44	66	33	180
平成14年	42	39	68	37	186
平成15年	46	49	71	34	200
平成16年	49	58	69	28	204
平成17年	51	61	72	34	218
平成18年	54	63	74	41	232

(各年4月1日現在 資料：障害者福祉課)

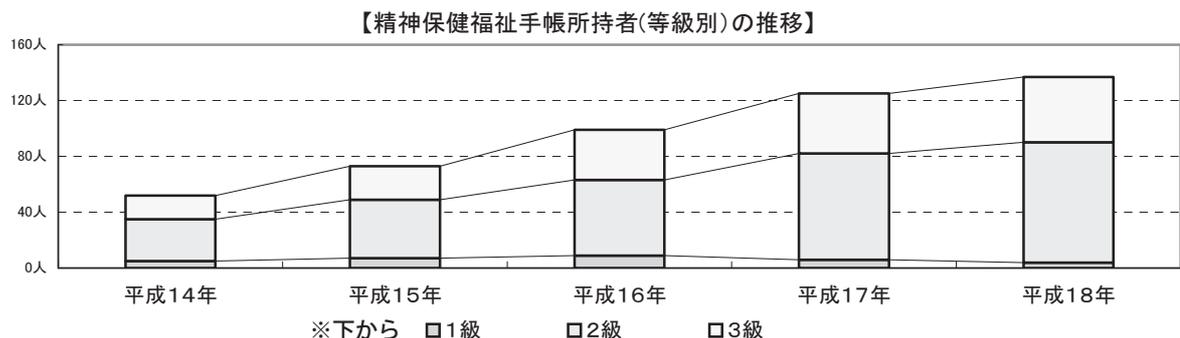


⑤ 精神保健福祉手帳所持者（等級別）の推移

等級別精神保健福祉手帳所持者は、軽度の等級において徐々に増加しています。

精神保健福祉手帳所持者（等級別）の推移 (単位：人)

	1級	2級	3級	計
平成14年	5	30	17	52
平成15年	7	42	24	73
平成16年	9	54	36	99
平成17年	6	76	43	125
平成18年	4	86	47	137



(3) 児童数の推移

① 保育所入所児童数の推移

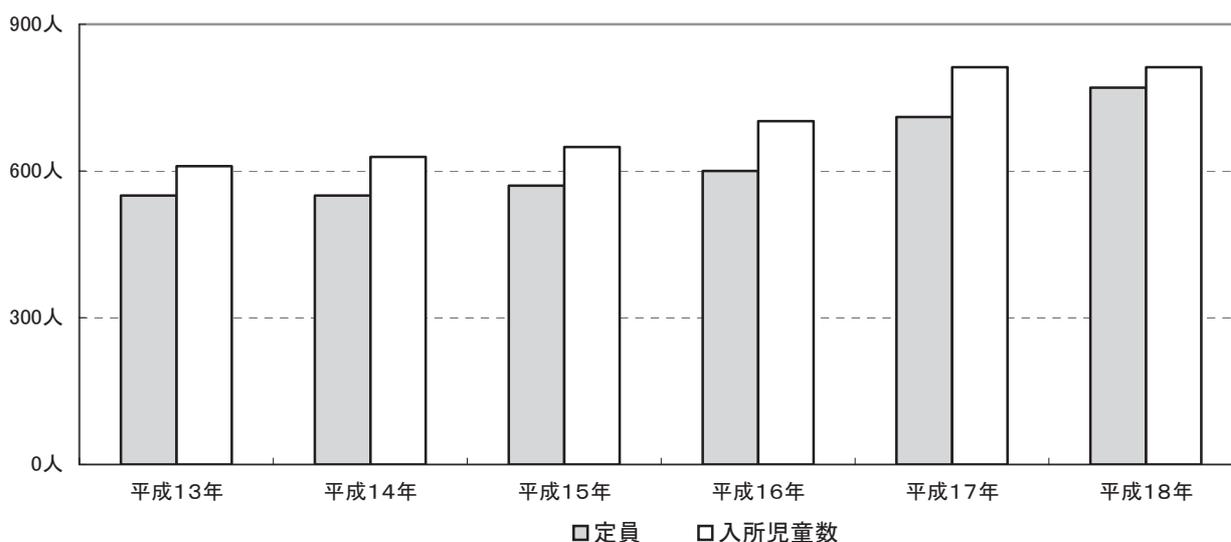
次世代育成支援行動計画に基づき、仕事と子育ての両立ができるように施設整備に努めています。保育所は、公立保育所（園）と民間保育園で11ヶ所あります。（川鶴保育園含む）

保育所入所児童数の推移 (単位：人)

	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
入所定員	550	550	570	600	710	770
入所児童数	610	629	649	702	812	812

(各年4月1日現在 資料：こども支援室)

【保育所入所児童数の推移】



② 家庭児童相談室相談件数

児童及び妊産婦の福祉に関する相談内容は、複雑で多岐にわたっています。

	性格 生活習慣	知能言語	人間関係	登校拒否	その他	非行	家庭関係	家族関係	環境福祉	心身障害	その他	計
件数	798	762	99	152	57	47	438	66	242	122	403	3,186

(平成17年度末 資料：こども支援室)

③ 学童保育室入所児童数の推移

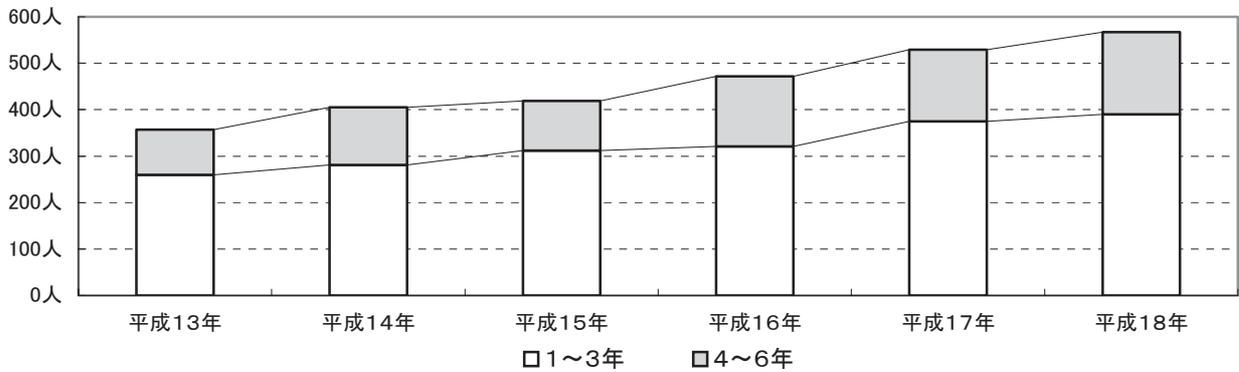
放課後の保育に欠ける児童対策として、保護者に代わって保育をする学童保育室が、市内に8施設あり、年々利用者が増加しています。

学童保育室入所児童数の推移 (単位：人)

	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
1～3年	260	281	312	321	375	390
4～6年	97	124	107	151	154	177
計	357	405	419	472	529	567

(各年4月1日現在 資料：こども支援室)

【学童保育室入所児童数の推移】



④ 児童館延べ来館者数の推移

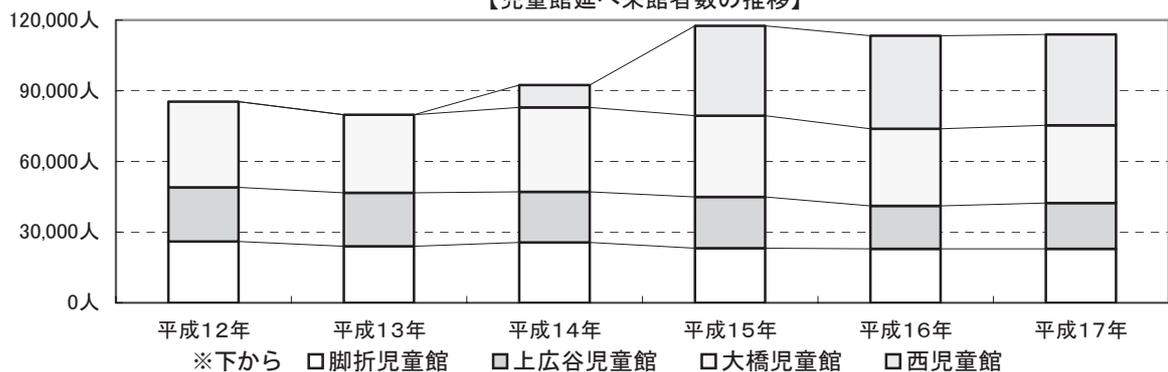
児童の健全な遊びの場を提供すること等を目的として、市内に4施設の児童館があります。西児童館は、開設された平成14年12月からの集計です。

児童館延べ来館者数の推移 (単位：人)

	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
計	85,375	79,870	92,359	117,544	113,320	113,903

(各年4月1日現在 資料：こども支援室)

【児童館延べ来館者数の推移】



(4) 生活保護の推移

① 生活保護の被保護人員・世帯数の推移

生活保護の被保護人員及び世帯数は、年々増加しており、推計人口に対する保護率も高くなっています。

生活保護の被保護人員・世帯数の推移

	被保護人員	世帯数	保護率 (%)
平成13年	193	109	0.28
平成14年	217	133	0.32
平成15年	279	164	0.41
平成16年	319	191	0.46
平成17年	328	197	0.47
平成18年	340	214	0.49

(各年3月時点 資料：社会福祉課)

【生活保護の被保護世帯及び人員の推移】

